

2017年6月号(第69号)  
発行/企画 社協

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会  
住所 : 〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25  
TEL : 045-866-8434  
FAX : 045-862-5890  
E-mail : info@totsukashakyo.com  
<http://totsukashakyo.com/>

# 社協とつか

## まち この「戸塚」で暮らしつづけたい!

### ◆ これからの戸塚…

2025年 団塊の世代が75歳を迎える支援を必要とする人が増加

暮らしの変化 支える世代減少のため社会保障にも大きな変化が…

介護保険料が現在の約1.7倍に!! ちょっと、ちょっと、  
他人事じやナイですよ…

足りない!! 介護保険サービスが足りなくなる?!

大変だ! どうしましょう…

### ◆ では、これから必要なことは…

住民一人ひとりが

「仲間や地域とつながること」  
が 大切!  
「健康寿命を延ばすこと」

### ◆ 地域の皆様と一緒に取り組みます

区内10の地域ケアプラザと区社協に配置されている生活支援コーディネーターが中心となって、誰もがいきいきと戸塚のまちで暮らし続けられるよう、高齢者を地域全体で支える仕組みづくりをお手伝いします。

#### 生活支援コーディネーターの仕事

##### 1. 地域の「素晴らしいところ」を探求します!

⇒ いつ、どこで、どんな活動が、どのように行われているのか?

また、そこで活躍している「人財」の情報を集めます。みなさんの知っていることを是非教えてください!



##### 2. ご近所同士の「見守り・支え合い活動」を応援します!

⇒ 「お隣さん、最近雨戸が開かないわ…」「パジャマで歩いてる人を見かけるけど…」ちょっとした目配りや気配りからの「気づき」は、ご近所さんだからこそです。その「気づき」から、誰も孤立しない安心して暮らせる地域づくりへつなげるお手伝いをします。

⇒ 例えば、重たい買い物や片付けなど、「ちょっと誰かに助けてもらえたたら…」という困りごと、ありますよね。気軽に「手伝うよ!!」と言ってくれるご近所さんがいると、とても助かります。「ボランティアしてもいいよ」という方が、活躍できるような地域づくりをお手伝いします。



##### 3. 「つながりの輪」を広めます!



⇒ 健康を維持するためには「外へ出て」「仲間と交流」「適度な運動」は不可欠です。そういう「場づくり」「活動をお手伝い」「活動をご紹介」します!

⇒ 介護保険に関する事業所や関係機関、企業などに声をかけ、担当エリア内の地域状況を共有・確認したり、地域のことを一緒に考える場をつくります!





# 社会福祉法人オール戸塚で取り組むまちづくり

～社会福祉法人と地域つながる連絡会としての取組～

## ～地域に一番近い相談所でありたい～

制度やシステムでは解決できない地域課題に対して、社会福祉法人の分野を超えたサポート、いつでも連携できるネットワークの構築が求められています。

戸塚をよりよいまちにするために社会福祉法人が一丸となり、支援の輪を広げていくことを目指します。また、皆様に一番近い相談所であるために地域との交流を行い、開かれた施設でありたいです。

### 地域貢献としての取組事例 \* 車両無償提供

制度の狭間でサービスを利用できない方への支援として、施設で保有している車両の無償提供を行いました。ニーズの多かった外出や移動全般への問題解決に応えるために、私たちがもっている社会資源を活用し、迅速な解決へ導くために、支援の形にとらわれない取組を行っています。

他にもこんなことやっています!

### 松みどりホーム

- ・近隣小学校への出前授業
- ・松みどり保育所との連携



施設の高齢者と子どもたちの交流

## ～和みの園はまちのみんなが作るよりどころ～

専門性に特化しながらも広い視野で地域課題に取り組むために社会福祉法人がお互いに「顔のみえる関係」でなければいけないと感じています。地域で暮らす様々な人が住みやすいまちづくりを目指して、私たちは地域の相談窓口であり、皆様の居場所として存在したいです。

### 地域貢献としての取組事例 \* 太陽光パネルの設置

障害者の雇用促進を目的としている企業に施設の屋上での太陽光パネルの設置をお願いしました。

障害者の働く場を提供するだけではなく、施設職員の障害に対する理解を深める機会になりました。この取組は、高齢者や障害者・子どもたちといった施設利用者に限らない様々な人を職員全員で受け入れ、支え合う良いきっかけになりました。

他にもこんなことやっています!

- ・子どもの居場所の提供
- ・子育て支援
- ・地域住民宅の庭木の剪定等



地域の子どもたちとスイカ割で交流

### ★ミニ知識 【社会福祉法人とは】

#### 1 社会福祉法人は、地域における 福祉サービスの中核的な担い手です

\* 社会福祉の発展・充実を使命とし、地域住民が日々の生活の中で必要とする様々な福祉サービスを提供し、支援することを目的に社会福祉法に基づいて設置されています。

\* 提供するさまざまなサービスには、たとえば高齢者の介護、障害児への各種支援、保育、虐待を受けている人へのケアなどがあり、様々な分野・種類にわたっています。

#### 2 公益を目的とした公共性の高い組織です

\* サービス(事業)提供の結果生じた利益は、株式会社のように配当などで外部に分配しません。地域のニーズにそった福祉サービスの充実や拡大にのみ使われます。

\* 適正な運営を確保し、継続的なサービス提供を行うため、設立にあたっては、土地や財産など安定した経営基盤の保持が原則となっています。

### ご存知ですか？ 善意銀行

善意銀行とは、皆様から善意の寄付(金銭や物品)をお預かりし、その善意をさまざまな地域福祉事業で役立てようとする「善意の橋渡し」の仕組みです。区内の当事者団体、社会福祉施設、地域福祉活動団体などに配分し、援助を必要とする人のために役立てています。

### 寄付者一覧(平成27年10月1日～平成28年12月31日) ありがとうございました

戸塚区少年野球連盟、戸塚区三曲協会、戸塚文化協会、株ミツバ横浜研究開発センター、戸塚ルーテル教会附属幼稚園、J A横浜中川・緑園都市支店農業まつり実行委員会、日立iensソフトウェア株、株日立ICTビジネスサービス、株日立アドバンストシステムズ、株日立産業制御ソリューションズ、株日立システムズ、株日立情報テック、株日立情報通信エンジニアリング、株日立ソリューションズ、株日立製作所システム&サービスビジネスICT事業統括本部、株日立製作所横浜支社、とつかルーテル保育園有志、山口木材株、戸塚区民踊舞連盟、

横浜東戸塚ライオンズクラブ、横浜商工会議所戸塚支部、ブリヂストン労働組合、東ソー労働組合、六国建設株、西口協議会有志一同、リフォーム教室花ふうぎ、オセアン大洋ホールディングス株、神奈川土建一般労働組合横浜戸塚支部、リフォーム教室大和なでしこ、

端山恵治、戸塚フラダンス & ハワイアンチャリティフェスティバル実行委員会、戸塚区役所旧若葉会懇親会、横浜市管工事協同組合戸塚支部、中央労働金庫戸塚支店、中央労働金庫戸塚ローンセンター

(敬称略・順不同)



「かしおのこども食堂」でも活用中！  
(寄付いただいたお菓子を選ぶ子どもたち)

連載

### 福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと

vol. 6

#### 一 仕事内容を教えてください

- ① 食事や入浴、身体介助等を行っています。
- ② 金銭管理や入所・退所の手続き等を行います。
- ③ 栄養管理や料理のメニューを考えています。

#### 一 なぜこの仕事に就きたいと思われたのですか

- ① 実習で高齢者施設に見学に行く機会があり、実際の高齢者福祉の現場を知ることができたことで、自分も働いてみたいと感じました。
- ② 祖母が介護福祉士だったため、福祉に興味がありました。また小学生の時に松みどりホームと行事等で交流したことがあります、自然と働きたいという気持ちが芽生えました。
- ③ 両親が福祉の仕事をしていたため、小さい頃から福祉に関する仕事に就きたいと思っていました。どのように携わるか自分自身で考えて今の仕事に就きました。
- ④ 実習での経験から高齢者の方が一日のなかで食事を大切にすることを学び、生活の楽しみや大切にされていることのお手伝いがしたいと思い、この仕事に就きました。

#### 一 仕事の魅力を教えてください

- ① 利用者の方に「ありがとうございます」と言ってもらえることや自分の名前を覚えて呼んでもらえることが嬉しいです。仕事のやりがいにつながります。
- ② 利用者の方の変化を感じられることが日々勉強になります。
- ③ 食事を通じて笑顔になってもらえることがあったり、メニューのなかで工夫したこと気に気づいてもらえると嬉しいです。

#### 一 地域との交流はありますか

毎月保育所の子どもたちが施設に遊びに来てくれます。利用者の方の笑顔も増えるので、今後も継続していくことを目指しています。また、保育所の行事のお手伝いもするので職員同士も連携を深めながら仕事をしています。

#### 一 「社協とつか」読者へメッセージをお願いします

福祉の仕事にも様々な形があります。人を支える仕事の現場をぜひ見に来てください。  
松みどりホームは地域に開かれた施設なので誰でも気軽に遊びにきてほしいです。お待ちしています！

### 社会福祉法人 松みどりホーム



【左】清水達矩さん・介護士（以下①）  
【左から二番目】早川玲奈さん・介護士（以下②）  
【左から三番目】北原千里さん・栄養士（以下③）  
【右】小倉青龍さん・生活相談員（以下④）

# 困ったときは ボランティアセンターに 相談しよう！



一人で悩み事を抱えていませんか？

ボランティアに手伝ってほしいことがあればご相談ください。

## Q どんなことをボランティアに頼めるの？



**A** 「高齢になって、自分では自宅の草むしりが難しい。」「車いすで生活しているけど、部屋の蛍光灯がつかなくなってしまった。だれか交換してくれる人がいないかなあ。」「膝が痛くて歩くのが大変、付き添ってくれる人がいると安心して外出できるんだけど」など、様々な相談を受け、ボランティアや地域の支え合い活動をご紹介しています。



庭木剪定のボランティア活動

(住まいと庭の手入れグループ「リリーフ戸塚」)

## Q どうやってお願ひするの？

**A** まずは、ご連絡ください。その際にボランティアコーディネーター(専門相談員)が対応します。あなたの希望や要望、活動の際の注意点を聞き取り、ボランティアを探したり、必要な情報をお伝えします。



サロンの開催

(戸塚精神保健ボランティアえくぼの会)

ボランティアが見つかった場合は事前説明や見学、顔合わせを行うなど、活動がスムーズに進むように全体を調整します。疑問や質問など、お気軽にご相談ください。

まずはお気軽にご相談ください。

### とつかボランティアセンター

窓口開設：月～土 9:00～17:00

※日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く

TEL：045-866-8483

FAX：045-862-5890

Email :volunteer@totsukashakyo.com

### ★ミニ知識 「ボランティア」の語源

“ボランティア”の語源はラテン語の“voluntus”や“voluntarius”です。その意味は、「自由意志・自ら進んでやること」。

“ボランティア”とは、一般に「自発的な意志に基づいて人や社会に貢献すること」といわれており、4つの原則があります。

▶**自発性** 自由な意志で行なうこと

▶**無償性** 利益を求めないこと

▶**社会性** 公平に相手を尊重できること

▶**創造性** 必要に応じて工夫できること

(横浜市ボランティアセンター HPより抜粋)

